

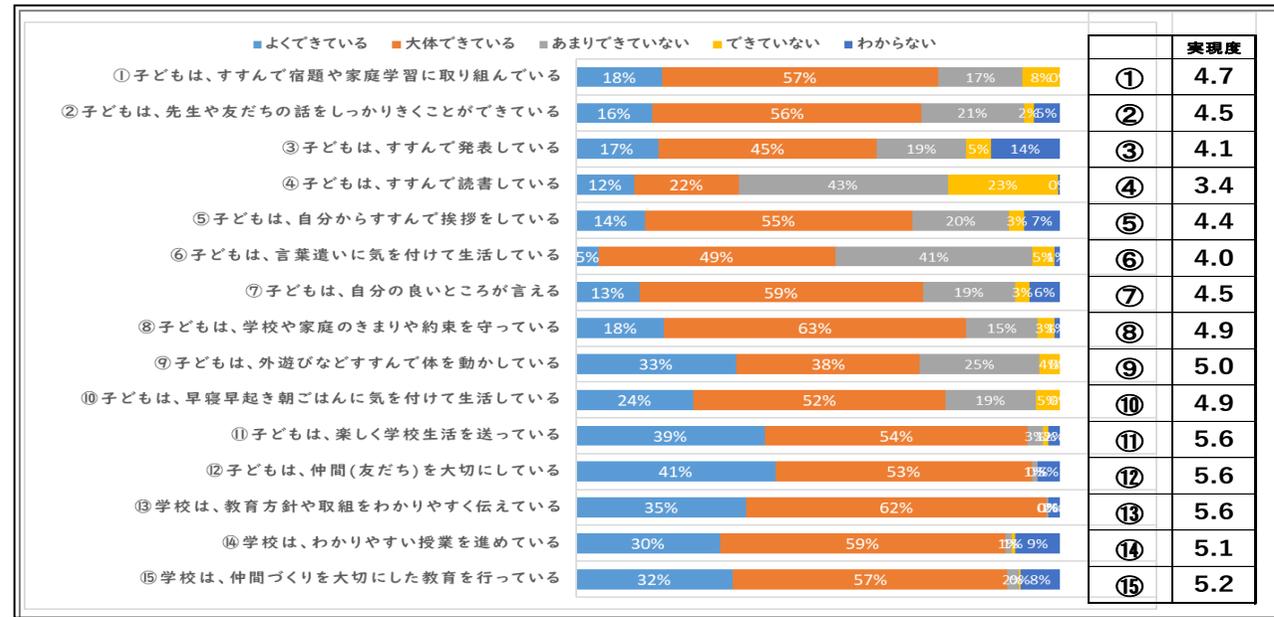
川岡東だより 増刊号 No.1

京都市立川岡東小学校
校長 岡本 雅文
TEL 392-8820 FAX 392-8827

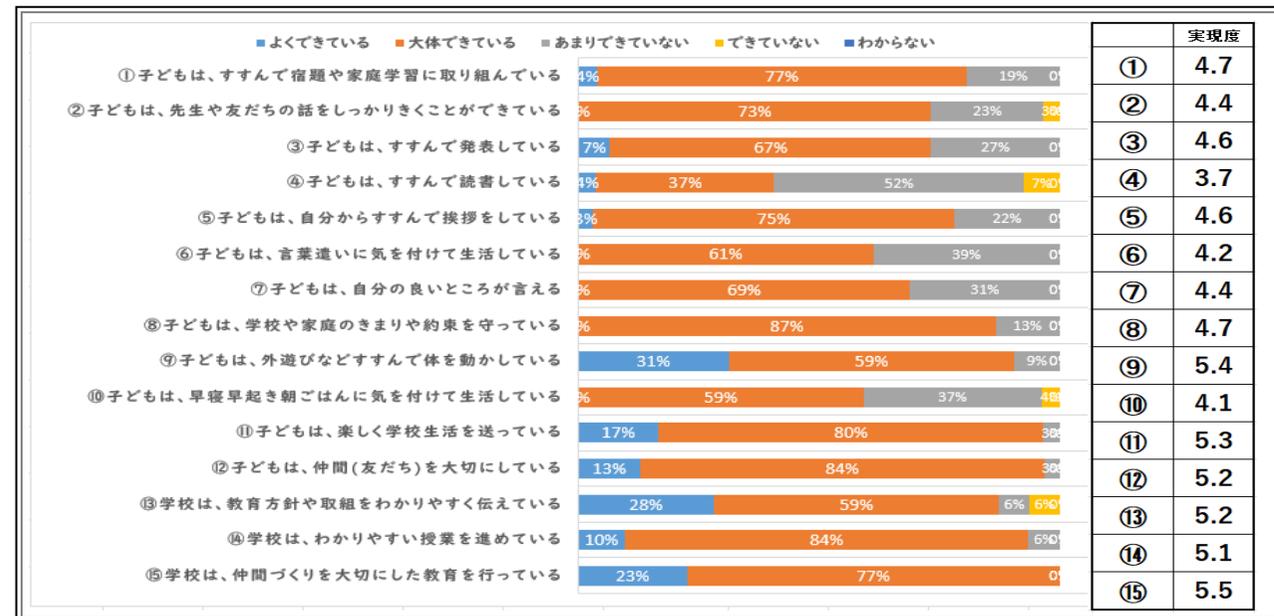
学校アンケートの結果より ~ご協力ありがとうございました~

保護者の皆様には、冬休み明け（1月）に「本校の教育にご協力を」という形で、本年度2回目の学校アンケートをさせていただきました。今年度より、フォームズでのアンケートの回答をお願いすることとなりました。259名（回収率61.8%）の方に返答いただきました。ご理解、ご協力いただきありがとうございました。その結果をお知らせいたします。

保護者評価 実現度



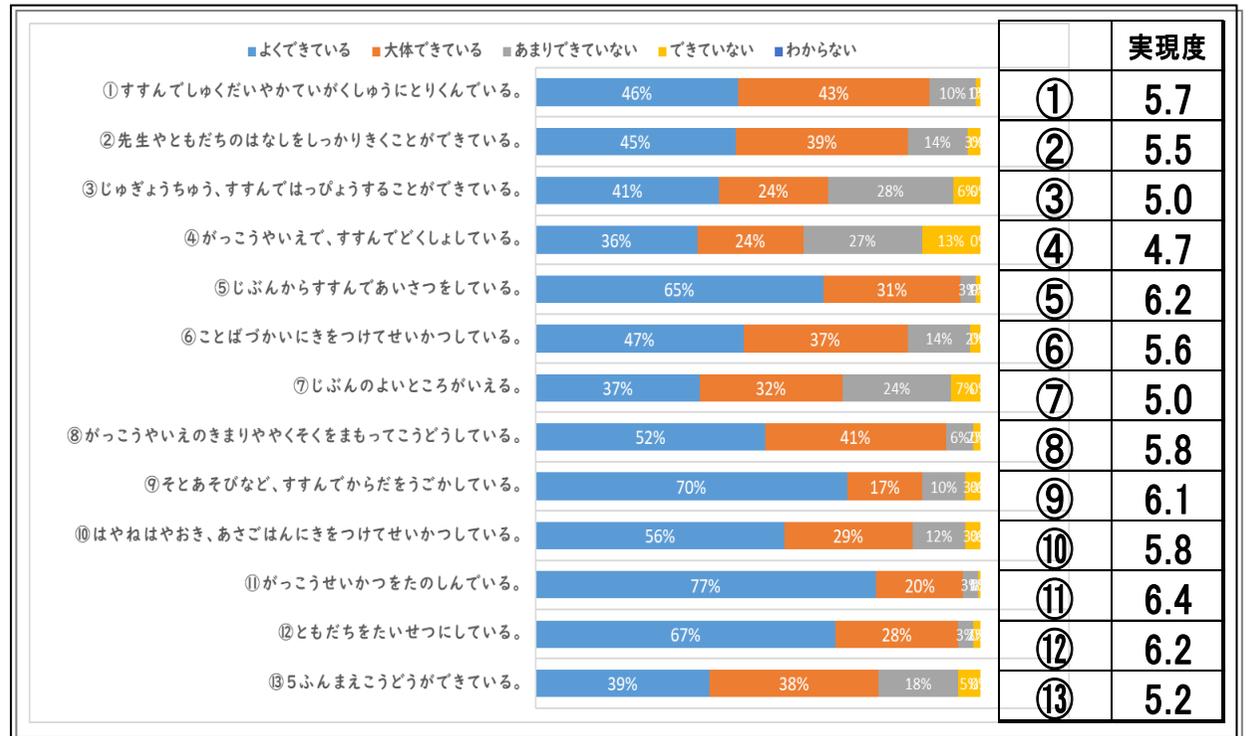
教職員評価 実現度



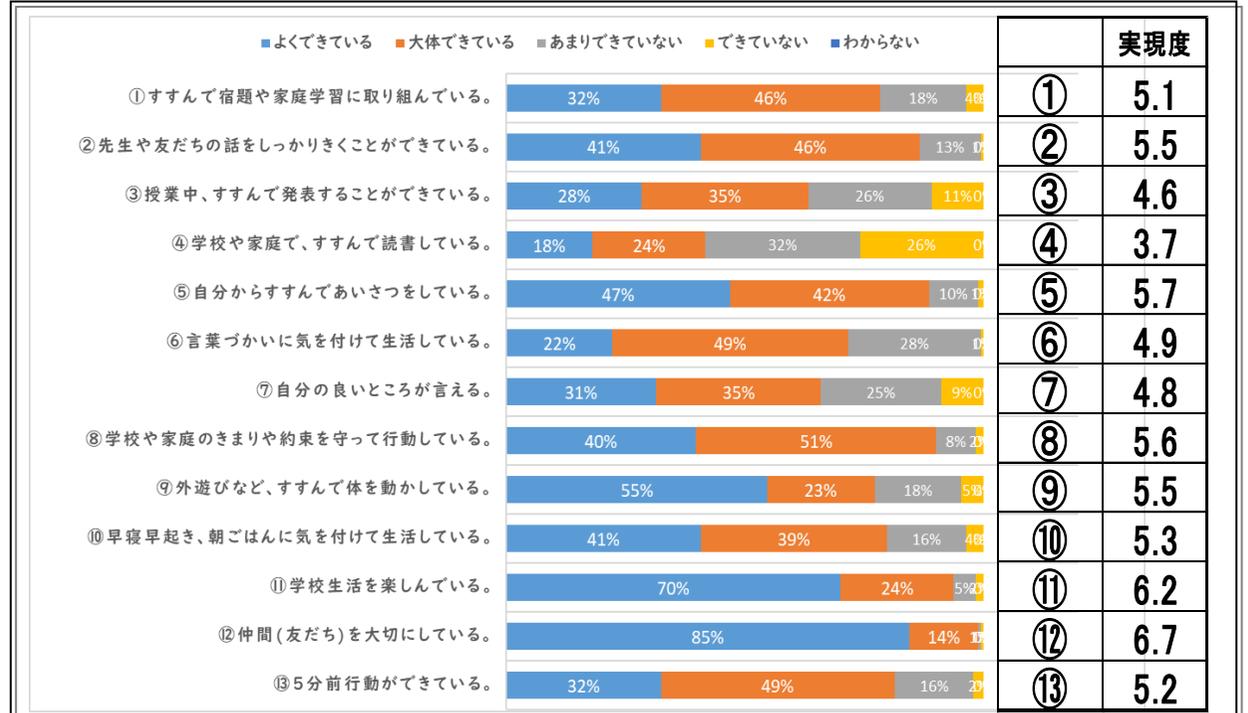
表の見方について

実現度…7点満点で数字が高ければできていると評価できるもの。
5点を超えているとおおむねできていると判断してよいと考えています。

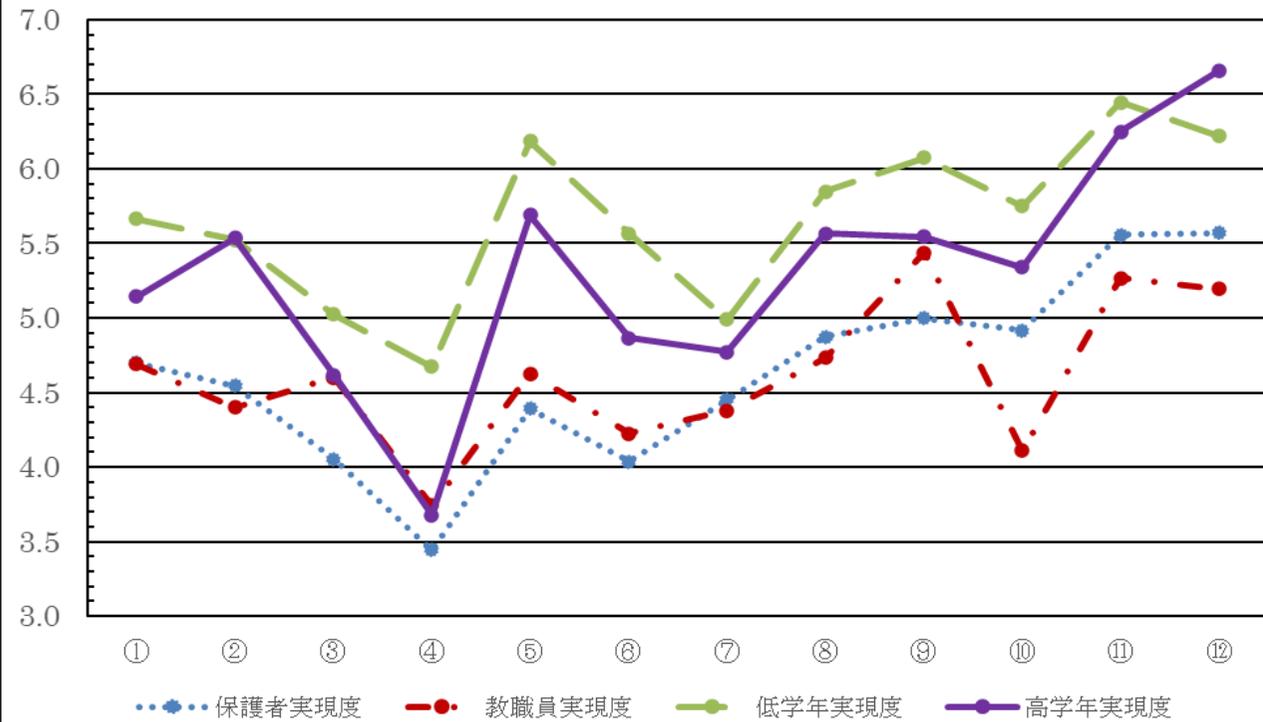
1・2・3年生 児童の自己評価結果



4・5・6年生 児童の自己評価結果



実現度比較（保護者・教職員・児童）



～保護者・教職員の結果から～

今年度より、アンケートの分析ソフトが変わったこともあり、WEBでの調査に変更としました。また、今年度から重要度の意識調査はしていません。重要度の調査も、項目に大きな変化がないことや、どれも重要だと認識の上で取り組んでいますので、実現度のみで行っています。そのこともあり、上部に示すように、実現度比較を、「保護者」「教職員」「低学年児童」「高学年児童」と4者の比較ができるようになりましたので、その違いも明確にわかるのではないのでしょうか。

保護者・教職員は全体として、前期よりも実現度が高まっています。また、保護者や教職員の実現度の傾向はとも似通ってきました。項目の前半部分は、相対的に教職員の方が実現度が高く、後半の項目は保護者の方が高いという傾向になっています。実現度の項目の高低の様子が、全体の傾向として、よく似通っていますので、同じような視点で子どもの実態をとらえられているといえるのではないのでしょうか。

保護者・教職員での実現度に違いが大きいのは、「③すすんで発表している」「⑩早寝早起き朝ごはん」の2項目です。生活習慣にかかわっては、生活アンケートの結果とともに考えていく必要があるかと思いますが、冬季に入り、生活リズムが少し遅くなり、睡眠時間が短くなっているという傾向が見られますので、体調管理も含めて確認していく必要があるかと思えます。

今回、「⑥言葉遣い」「⑦自分のいいところ」「⑪楽しく学校生活をおくる」「⑫仲間を大切に」という項目は、保護者も教職員も実現度が高まりました。学校環境にかかわる項目だと思っています。これらの項目が高まることで、子ども同士のつながりが広がったり、深まったり、また、過ごしやすい環境につながっていくと考えます。よりよい環境に向かっているということが確認できたことはとてもうれしいことです。

「⑭わかりやすい授業」「⑮仲間づくりを大切にした教育」という項目で保護者の実現度が上がっています。子どもの姿から判断していただいているかと思えますので、子どもからそのようなことが感じられるようになっていることをうれしく思います。

なかなか読書が高まらないです。ここは本校の大きな課題だと思えます。2月に2週間、読書週間として本に親しめるように取り組みを進めてきました。図書室の活用や図書委員会からの児童読み聞かせ、教職員も読み聞かせを行っています。子どもたちは、食い入るように本の世界に入っていくのですが、それが自ら手に取るところまでつながっていないのが現状なのかもしれません。決して関心がないわけではないので、興味関心から本に手を伸ばす、そこに何か一手が打てたらと考えます。



～児童アンケートの結果より～



- 前期のアンケートと比較すると、低学年、高学年とも前半の項目で実現度が下がる傾向で、後半の項目で実現度が上がっている傾向が見られます。①～⑥までの項目においては、昨年度の後期から今年度の前期とへと高まる傾向でしたので、それがもとに戻ってしまったという感じかもしれません。毎年、前期より後期の方が下がる傾向があります。特に、低学年においてその傾向が出てきます。自分を見つめることができるようになったり、どんなことができていると判断しているのか、日々の生活の中から理解できるようになったりすることで、下がるのではないかと思います。下がったとはいえ、実現度「5」に到達していればおおむね達成できていると判断できていると考えていますので、高いところでの上下動となっていることから、おおむね子どもの姿はよりよく展開できていると考えていいのではないかと思います。
- 低学年・高学年とも最も低い項目は「⑦すすんで読書」でした。低学年高学年とも少し下がってしまったので、もっとも低い実現度となっています。
- 低学年の中で前期に実現度が最も低かったのが「⑦自分のいいところ」でしたが、今回0.2ポイント高まりました。自尊心という視点でいい傾向となっています。
- 前期では暑さの関係もあり「⑨すすんで体を動かしている」の実現度が低かったのですが、寒い時期で例年下がる傾向ですが、今回は実現度が高まりました。低学年、高学年とも大きく高まっていますので、異常気象の影響は子どもの成長にも大きく関与していくことがわかります。
- 子どもたちにとっては「⑩早寝早起き朝ごはん」の実現度は低学年で高まっていることから、生活リズムは意識して取り組んでいることがわかります。生活アンケートの時期と重なったことも意識する結果になったのかもしれませんが。そう考える、子どもの自覚や意識するような声かけや取り組みがあるとしっかりと考えて行動できるということにつながっていくのかもしれない。
- 「⑬5分前行動」ですが、低学年・高学年とも同じ実現度です。しかし、低学年も高学年も下がっています。今年度から、5分前の音楽を廃止して、時計を見て動くようにしていますが、大きな課題にはなっていないので、時間を意識して行動している姿はあります。
- 「⑩学校生活を楽しんでいる」「⑫仲間を大切にしている」の2項目ですが、保護者や教職員の実現度は上がっていましたが、児童はあまり変化のない状況でした。ただ、どちらも「6」を超える実現度を示していますので、相対的に居心地が良い状況の中で過ごしてくれていると考えられます。ただ、全員ではありません。そのことはしっかりと受け止め、全員が安心安全で楽しく過ごし、仲間とのつながりを大切にできるように取り組みを進めていかなければならないと思っています。



京都市立川岡東小学校
校長 岡本 雅文
TEL 392-8820 FAX 392-8827

保護者の方からのご意見

自由記述でのご意見やご感想、ありがとうございます。教職員にとって励みになる言葉をたくさんいただきました。たいへんうれしく思っています。感謝申し上げます。その中から具体的にいただいたご意見や内容にかかわって、提示いたします。同じような内容や個別に関わる内容は一部まとめています。御了承ください。

○学校生活・学習活動等について

- ・6年間、楽しく学校生活を送れています。
- ・学校での出来事は、あまり話してくれないのでよく分からないですが、放課後に誰と遊んだ等の話はよく聞かせてくれます。嫌な思いをした内容も大分過ぎてから話してくることもあります。
- ・忘れ物が多く申し訳ありません。夜に用意して、玄関まで持っていき、靴を履いたらそのまま玄関に忘れるパターンが多く…気をつけます。いつもありがとうございます。
- ・もうすぐ2年生ですが、平仮名を覚えきれていないことが不安です。漢字なんて未知の領域です。

◇学校生活において、楽しく過ごせているとか、喜んですごせているというお言葉をいただいています。ありがとうございます。引き続き、子どもたちがそう感じながら過ごせるように、努めて参りたいと思います。学習面での不安とか、持ち物のこととか、時折話す子どもの内容に心配や不安な思いをされることは確かにあると思います。ご心配なこと、ご不明なことは遠慮なく学年の方に尋ねていただく、あるいは、学校まで連絡いただければと思います。これから学年が上がっていきますので、ますます不安なことも出てくるかと思えます。そのことは受け止めさせていただいた上で、いっしょに考えていくことができればと思っています。

○学校・学年・学級のルールについて

- ・ぞうきんのゴムを洗濯バサミに変更して欲しいです。
- ・よく子供が友達に嫌なことを言われ、傷ついて帰ってきて体調にまで悪影響が及んでいる。全員遊びなど強制的にするべきものなのか。仲間づくりのあり方を根本的に考え直すべきではないか。
- ・防犯ベルを遊び半分で鳴らしている子がいます。緊急事態の時に機能しないかもしれないし、見守りの大人もベルが鳴っても『遊びかな?』とってしまうかもしれません。防犯ベルを持たせている家庭は、子供に注意喚起した方がいいと思いました。

◇ご家庭で準備いただくものについては、その都度、ご意見を校内でも共有し、よりよい手立てを考えます。学校での活用の仕方や施設の問題などで組み入れることができないこともあることはご理解ください。
◇友達との関係性については、いつも理想的な関係で学校生活を送れているとは思っていません。いろいろなタイプの子がいる中で、うれしいこともたすけあえることもあれば、いやなことももめることもあります。その中で、仲間としてどのようにつながりあえばいいのかを子どもも私たちも考えながら取り組んでいます。今回の強制、という言葉に、子どものしんどさがあるのならば、その取り組み方について検討する必要があります。しかし、係活動として子どもが自主的に行っていたり、意図をしっかりとって取り組んでいたります。その中でそのような思いを抱えている児童がいることを踏まえてかかわり方を見直していきたいとは思いますが、お子様の思いや気持ちを学年の教員と共有していただけるとありがたいです。防犯ベルに限らず、持ち物の扱い方やそのものの意味など学校でも家庭でも同じ視点でお話しできれば、子どもも理解できるのではと思います。校内だけでは見えない姿で共有しておく必要があるとも思われることは遠慮なくお伝えください。

○宿題・自主学習について

- ・宿題のプリントの問題がたまに学年のレベルに合ってるのかわからない時があります。

◇学校での学習内容と家庭学習は連動させて取り組むように意識しています。もしかしたら学習進度の予定がずれたり、基礎基本から発展的な内容を提示していたりするのかもしれませんが。意図やねらいがありますので、お尋ねいただければ幸いです。

○情報提供やアンケートについて

- ・毎日楽しそうに学校へ通っているので嬉しいです。クラスでの写真が予定表などに載っていることがなく、少し残念です。先生がお忙しいのはわかっておりますが、見たいと思うのが親の素直な気持ちです。
- ・校長先生が児童の名前を覚えていらっしゃる事に驚きました。また担任の先生が小さな事でも連絡対応して頂き安心して子供を学校に通わせてられています。とても感謝しております。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。ホームページで学校の様子を知ることができるのでいつも楽しく拝見させていただいています。子どもとの会話にもつながるのでありがたいです。

◇情報提供にかかわっては、学年間での差はどうしても出てきます。申し訳ないですが、そこをそろえて行うことが難しいです。できる限り、学校の様子が分かるように、HPを活用したり、校門前の掲示板にも画像を掲載しています。また、個別でお伝えすることも行うようにしています。ただ、学年間によるばらつきはあるにせよ、HPの閲覧数が伸びないのが残念です。教職員は積極的に少しでも多く掲載しようとしていますので、ぜひ、定期的に確認いただければ幸いです。

○その他

- ・いつも感謝しています。ありがとうございます。楽しく学校に通えているので、嬉しく思います。
- ・学校へ行くことも、関わることも、めっきり減り、わからないことが増えてきました。そのため、我が子を見て回答しました。
- ・もっと先生とリラックスして楽しく個人懇談でお話したいのが本音です。このご時世ですので難しいでしょうが、距離を感じてしまいます…。今年度、残り短い期間ですが少しでも距離が近くなれば嬉しいです。
- ・放課後、お家に遊びに来る子のマナーが気になります。
- ・学校行事、特に個人面談ですが、シフトの希望提出が20日までとなり、直前のシフト変更や仕事の調整が難しい場合があります。先生方もお忙しいことは重々承知しておりますが、もう少し早め早めにして頂けたら、有り難く存じます。我儘を申し大変恐縮ですがご検討頂けましたら幸いです。
- ・学校で学習する場もあるようですが、友達同士のLINEの使い方『?』です。相手の子にもよりますが、時間や頻度の約束事というよりも、思いやりのない使い方に、傷ついたりモヤモヤしたりする事があるようで翌日の学校生活に響きます。お互い成長とともに学習していくことだとは思いますが、私たち親も子供の頃には経験できていないことなので一緒になってモヤモヤしてしまいます。

◇いろいろご意見や思いをお伝えいただき、ありがとうございます。ご指摘だけでなく、感謝やうれしいこともお伝えくださるので、とてもありがたく思いますし、勇気や自信となります。いただいたご指摘は、内容を共有し、学校全体への意見として受け止め各自振り返って今後につなげていきます。また、行事予定や各お知らせなど、できるだけ早くお伝えできるように意識がしているのですが、学年全体にかかわることや今回の懇談会のお知らせのように、兄弟関係等で全学年と調整する必要があるお知らせは、少し時間がかかってしまいます。少しでも早くお知らせできるように努力はしますので、保護者の方々も期日を守って提出いただく、早めに提出いただくなど全家庭が協力いただけると、助かります。
◇ラインなどスマホにかかわる事案は、どの学校でも大きな問題となっています。本校でも何度かプリントを配布させていただき、ご家庭でも注意いただくようお願いをしています。学校でも何度か情報モラルとしての授業をおこなっています。なかなか見えない部分での問題なので、表出してきたときには、大きな問題になっていて、対応に苦慮することが多いです。学校でも継続して注意喚起や安心安全な使用の仕方について指導していきますが、各ご家庭でも、お願いします。同じ視点で同じように指導いただければ、子どもも理解が深まるのではないのでしょうか。それと、なんでも話することができる家庭での環境を大切にしていってください。思春期に近づけば近づくほど、親子の会話や接する時間が減っていくとおもいますが、そこは、家庭での環境づくりとして、なんでも話せる、話をまずは受け止めてそこから一緒に考えようとしているという雰囲気や大事にいただければ、早い段階で気づくことができ、小さなうちに対応できるのではないかと思います。「なんとなくおかしい感じがする」というような情報を共有させていただくだけでも大人の意識の仕方が変わるかと思えます。連携しながら進めることができればと思います。

■地域の方々、就学前施設からのご意見（集約・抜粋）



- 朝のあいさつは今も、良いあいさつをしてくれています。校内でも元気に「こんにちは」と声をかけてくれます。こちらよりも早く言ってくれて、とても嬉しくなります。前よりも元気になっていると感じます。
- 毎朝通学路で見守りをしていますが、いつも思うことは、朝の挨拶をしてくれる小学生が確実に増えていることです。子どもから先に言ってくれることもよくあります。後ろを向いている時に声をかけてくれる子もいます。1年生もほとんど返してくれます。高学年はほぼ完璧です。毎朝の見守りが気持ちよく楽しいです。
- 野菜の収穫授業を手伝わせていただいたのですが、畑の中で、決まったウネを通ってくれていました。早く収穫できた子ども達は、他の子ども達の手伝いをしたりしていて、互いの協力ができていると感じました。ルールを守る、他を思いやる等ができていると思いました。帰りには感謝とあいさつをしっかりとしてくれました。毎年少しずつですが、レベルが上がってきている感じがします。
- 日が暮れるのが早いこの時期にも公園には、小学生が元気に遊んでいます。高学年男子は、野球やサッカー等、低学年の男女は、特にブランコや鉄棒のあるエリアへ、野球を中心に遊んでいる子、サッカーを中心に遊んでいる子、殆ど外で遊ばずに毎日ゲームばかりしている子もいるようです。
- 地域行事での関わりは、年に2回の遊びを中心にした事業ですが、この時には大いに楽しく遊びます。小学校の事業以外のことをするので楽しんでくれているようです。そのような中、近所で会う時にはあいさつもできます。
- 運動会では、終わった後に子どもに感想を発表してもらう場があり、「子どもの声を聴く」という学校の姿勢が伺われてよいなと思いました。
- 今年も運動会や秋の学習発表会は、各学年いろいろ工夫がなされ、どの学年も素晴らしいできばえでしたが、今も一番心に残るのは、6年生の戦争の恐ろしさを伝えるあの劇でした。本当に真剣に劇をしている6年生と、それを鑑賞している人達全員が真剣に集中して聞き入った。本当にすごく感動した瞬間でした。
- 学習発表会では、どのプログラムも子ども達がいきいきと発表していて感動しました。日頃の取組が現れているのだろうと思いました。また、プログラムの合間も子ども達が楽しく過ごせるゲームを考えたり、司会をして感想を聞いたり、和やかな雰囲気よかったです。子どもが感想を言ったあと、近くの先生が「良かったで！」というように手で good の合図を送られ、児童も嬉しそうな表情でした。
- 真摯に子どもの事を考えておられるのだなと感じる。たまに見る参観の時の様子を見ていても、私語をしたり気になる様子はあまり感じない。
- 今回、マラソン大会の見学へ行かせていただき、とても良い刺激になりました。「小学校へ行ったら広いグラウンドで走れる！」と喜んで取り組んでいます。苦手なお子様もおられますが、前向きに頑張る気持ちももっています。
- 幼保小連携の取組を積極的に行っていただき、ありがたい。保育園を卒園したその後、学校での姿を見る機会が多くなり貴重な時間となっている。（自分達の保育の確かめや振り返りにもなる。）
- 今年度は多くの先生方に保育園見学に来てもらい、積極的に入学前の姿、生活を知ろうとしてもらったことに感謝します。保育園がどのような目標をもち、どのような思いをもって保育をしているかを伝える機会をつくっていただき、多くの先生が積極的に質問される姿に、こちらも刺激を受けました。
- 児童館のイベントに実行委員として協力・企画している子ども達もいます。企画力もあり、当日の連携した動き（インカムを使いこなし）もとてもしっかりしていて感心しています。将来が楽しみです。
- 学童クラブに、担任の先生が様子を聞きに来られたり、子どもがプリント・ドリルがないと困っていると、一緒に探しに来られたり、本当に一人一人の子ども達の事を大切にされていると思います。保護者の方々も安心だと思います。



学校運営協議会の理事の方々から

- 朝の読み語りについて、児童達はよく話を聞いてくれる。教室に置いた本も読んでくれている。
- 子どものスマホ問題について
 - 児童のスマホ使用状況が気になっていたが、学校での対応の仕方を聞いて安心した。
 - スマホの管理については、保護者が責任をもって管理していくべき。子どもが傷つかないような対応が必要。
 - 子どもは、どうしてもスマホに依存してしまう傾向がある。
 - 原因が分からない不登校が増えていて、難しい時代・問題だと思う。
- 担任は家庭訪問や児童と話などをして、関係をつなぐようにしている。
 - 登校できるタイミングがある。休んでいるのは子どもにとって充電期かもしれない。様子を見ながら登校を促したり、見守ったりしている。保護者は学校に協力的である。保護者自身の悩みも話してくれるのでありがたい。
- 校舎4階の断熱材工事をどのように進めるのか。どのような理由で始まったのか？
 - 保護者からの要望があった。天井をはがしての作業になる。
- 屋上に断熱材を敷くことはしないのか？
 - 教育委員会の判断で4階天井をはがしての工事になった。
- 壁からも暑くなるので、今後も断熱材を入れてもらう工事の必要性を教育委員会に伝えていくべき。

【後期学校アンケート結果の分析から】

このアンケートを取りながら、強く感じるのが感謝です。自由記述に多くの指摘やご批判をいただくことが多かったのですが、ここ数年は、ご指摘やご批判もありますが、感謝の言葉や子どもは喜んで通学しているなど具体的な内容を時には入れながら、お言葉をいただくことです。自由記述なので必須ではないのですが、よい面も評価していただきながら、もっと改善すべきところや疑問を述べていただいているので、勇気ももらえますし、自信にもなります。そして、もっとこうしてみようとか、もっとこんなところ頑張ってみようとか、しっかりと連携を取りながら進めていきたいなと思えます。本当にありがたいと思います。お互いを、そして、子どもも人として尊敬しながら共に歩むことができれば、ますますよりよい環境が創っていただけるのではないかと思います。

学校運営に協力いただいている方々からのアンケートでのお言葉も、多くが子どもの姿がよりよく変わってきていること、教職員が熱心に取り組んでいること、あわただしい中でも保護者の方々も一生懸命子育てをされていることなど、伝えていただいています。それぞれに課題はありつつも、よりよく変化しているところや頑張っていることに焦点を当ててお言葉頂けることは本当にありがたくうれしいところです。しかし、課題だと思われる指摘もいくつか存在します。そのことを真摯に受け止めて、しっかりと見直し、よりよく改善していくことが次へのステップにつながると考え、教職員と課題を共有し、次年度に向けて準備を進めていきたいと思えます。

少し懸念するのが、パソコンのシステムの関係で、WEB方式でのアンケート調査となったので、回収率が下がったことです。年2回のアンケートですので、お手数をおかけするところはありますが、来年度以降もご協力を宜しくお願いします。